建築 CPD 情報提供制度 特別認定講習会・JABMEE SENIOR 認定制度 必須プログラム

建築設備　総合講習

建築 CPD 情報提供制度
7 単位

JABMEE CPD
20 単位

建築設備士をはじめとする建築設備技術者、設備設計一級建築士、一級建築士、確認検査機関、自治体関係者などが対象

近年、建築の高性能化が進み、それを支える設備技術と建築設備技術者が果たす役割は、ますます高度化、多様化しています。同時に、建築設備に関わる技術者や建築士の責任は大きくなり、情報収集や最新技術の習得が必要とされています。

本講は、新技術の動向とその導入事例、また、最近、制定、改正された建築設備関係法規、建築設備に関する事故例とその対策など、建築設備に関する計画、設計、工事監理、施工管理、維持管理など、幅広い分野で活躍する方にとって不可欠な知識を提供するものです。また、建築設備士をはじめ、設備設計一級建築士、一級建築士、確認検査機関、自治体関係者などにとっての自己研鑽に活用できる内容となっています。

なお、受講者には、建築 CPD 情報提供制度で 7 単位、JABMEE CPD で 20 単位（講義 13 単位、レポート 7 単位）が付与されます。

※平成 25 年４月より、「建築設備総合講習」に名称が変わりました。

主　　催　（一社）建築設備技術者協会　　**後援予定**　国土交通省、（公財）建築技術教育普及ｾﾝﾀｰ

協　　賛　（公社）空気調和・衛生工学会、（一社）電気設備学会、（一社）日本空調衛生工事業協会、（公社）日本建築士会連合会、（一財）日本建築設備・昇降機ｾﾝﾀｰ、（一社）日本設備設計事務所協会、（一社）日本電設工業協会

※（公社）は公益社団法人、（一社）は一般社団法人、（一財）は一般財団法人を表す

開催日時と会場

東京会場　平成 26 年 3 月 27 日（木）　飯田橋レインボービル（東京都新宿区市谷船河原町 11）

プログラム（プログラム内容・時間等は，事情により変更することがあります。）

時　間	分　野	講　義　内　容	講　師（敬称略、予定）
10：00 ～10：30	共　通	**総論，近年の動向** 昨今の事務所建築における建築設備の動向・傾向，「ストップ・ザ・温暖化」，法令・契約における工事監理，事例を交えた環境エネルギー報告について解説。	**川瀬　貴晴** 千葉大学大学院 工学研究科　建築・都市科学専攻 建築学コース　教授 (一社)建築設備技術者協会　会長
10：30～10：40	倫　理	**技術者の倫理について** 建築設備技術者としての技能と倫理，協会倫理綱領，企業倫理，継続職能開発制度（CPD）について解説。	
10：50～12：10	空調設備	**空調設備の新技術と事例** 環境配慮型空調設備の設計，顕熱，潜熱分離空調，エネルギーシミュレーションの最前線，先端設計技術それぞれの事例を多数解説。	**大串　辰雄** （株）日本設計 環境・設備設計群　設計グループ長
13：10～13：50	衛生設備	**衛生設備の新技術と事例** 水の今と未来，給水設備の現状と課題，安心な水，温泉水のレジオネラ対策，省エネ型給湯機，病院の水まわり対策について解説。	**中村　勉** 須賀工業(株) 執行役員　技術本部長 兼 技術研究所
14：00～15：20	電気設備	**電気設備の新技術と事例** 企業の BCP を支援する防災システム，データセンターにおける BCP，医療施設の電源設備計画，環境負荷削減を考慮した電気設備，電気設備の信頼性，およびそれぞれの事例を多数解説。	**滝澤　総** （株）日建設計 設備設計部門　設備設計部長
15：30～16：00	昇 降 機	**昇降機の新技術と事例** エレベーターの安全性，セキュリティシステム，長周期地震動対策など事例を交えて解説。	**釜池　宏** （一財）日本建築設備・昇降機センター 認定評価部　副部長
16：00～17：00	法　規	**改正法規と事故例** 建築設備技術者に必要な建築基準法，消防法などの最近の改正法令・告示・通達内容および空調，衛生，昇降機，建築防災に関する事故事例を解説。	**吉野　功** 元 東京都 建築指導部　課長補佐
17：00～17：30	レポート作成		

お申込書は裏面